

【教育委員会議事録】令和元年6月定例会

開催日時	令和元年6月27日(木) 9:30~10:30
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	児玉 典彦(教育長) 小田 耕一(教育長職務代理者) 藤井 悦子 吉村 邦彦
欠席委員の氏名	児島 まさ子
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 竹内 徹 教育部次長 藤田 信夫 教育部次長 三井 清 教育政策課長 田村 尚美 学校教育課長 大田 一夫 教育指導監(生徒指導推進室長) 瀬下 信二 教育研修課長 岡 良治 学校支援課長 大賀 健 学校保健給食課長 山本 匡章 生涯学習課長 異儀田 正康 文化財保護課長 濱崎 真二 教育部参事(図書館政策課長事務取扱) 鶴田 将之 教育部参事(美術館長、歴史博物館副館長事務取扱) 中村 美幸 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 山本 洋美 豊田教育支所長 石田 正成 豊浦教育支所長 日吉 克浩 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課主査 倉前 啓介 教育政策課主任 松富 潤
傍聴人の数	0名

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案】	
第49号 下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令	P 5
【専決の報告】	
下関市社会教育委員の解嘱及び委嘱について	P 6
【報告事項】	
2019年度こども文化パスポート事業について	P 7
学校給食施設再編整備について	P 8
下関市生涯学習プラザの臨時休館について	P 13
「横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち 安野光雅／角野栄子／あべ弘士」展開催について	P 14
下関市生涯学習赤間関市誕生130年記念特別展示 「下関の鉄道物語」の開催について	P 15
【その他】	P 16
【閉会の宣告】	P 16

【開会の宣告】

児玉典彦（教育長）

それでは、教育委員会6月定例会を開会いたします。本日は児島委員が欠席となっておりますが、教育長及び教育委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、会議の定足数を満たしていることを報告いたします。

【署名委員の指名】

児玉典彦（教育長）

本日の議事録の署名は藤井委員、小田委員にお願いいたします。本日の日程は日程1の議案が1件、日程2の専決の報告が1件、日程3の報告事項が5件、日程4その他となっております。

【教育長報告】

児玉典彦（教育長）

では、議案第49号の審議に入る前に教育長報告を行います。5月23日からです。

まず、23、24日で富山市の全国都市教育長協議会に出席をしました。色々な意見交換があったのですが、地方の教育委員会、市町の教育委員会はどこも統廃合の問題が大きな課題になっているな、と痛感しました。先進的な事例もあるので、そういった情報を持ち帰って、事務局内で共有したところです。24日は、19時過ぎに新下関駅に着きまして、そのままタクシーで春帆楼に行き、PTA連合会の懇親会に参加。25日は、小学校の運動会参観で長府小、熊野小、生野小の運動会を観ました。その後、1回家に帰って、夕方から美術館友の会懇親会総会に参加。26日は吉見小、滝部小、阿川小の運動会に参加しました。さすがに疲れて移動中はほとんど眠っていました。でも、その仮眠をとったおかげで徐々に元気になって夕方から下関市文化協会懇親会総会に参加することができました。27日は文化振興財団臨時理事会に出席。28日は下関市保護区保護司会式典に参加しました。ここを途中退席して、いじめ防止対策推進協議会に2時半から出席をして、挨拶しました。29日には、総合教育会議が行われ、適正規模・適正配置について、方向を確認することができたかなと思っています。学校運営に関して、働き方改革は、エアコンを入れたことで夏休みを短くして、負担軽減を図ろうという、そういう方向性が打ち出せたと思っていますが、委員の皆さん参加してみてどうでしたか。小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

適正規模・適正配置の問題が、全市的な、学校だけに限らない問題であるということが再確認できたということで、市の振興などにもつながってくるというように思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

他はよろしいですか。続いて5月30日は、県の公立高等学校入学者選抜に関する会議に出席しました。入学定員をどうするかということも大きな課題を抱えているなあと思いました。それから、31日に教科書採択会議。6月2日は内日小学校の運動会に参加しました。この小中合同というのも珍しかったのですが、地域の参加、それからこれはびっくりしたのですが、保護者でもない、高校生でもない年代の大人が居て、良く見てみると、東亜大学の大学生がサポートに入ったり、競技に参加したりして、ずいぶん盛り上がっていました。これも1つの方向かなと思ったところです。6月3日は、中高連携推進協議会に出席。中学校から高等学校へのスムーズな移行、つまり高校に入ってこんなはずではなかったという子供を減らそうという課題もあります。他市や他県への流出防止、これも大きな課題となっています。4日は小学校長会。6日は常任委員会がありました。それから、同じ日に特別支援教育推進委員会があって、色々な会議があるのですが、この推進委員会ほど活発な協議が行われるところはありません。やはり、引き続き特別支援教育に力を入れていくべきかなと思いました。6日の夕方は、補導委員の委嘱状交付式がありました。9日は、海洋少年団入団式役員総会に参加。今年は久しぶりに3名もの新入団員があったということで、海洋少年団の役員の方々が明るかったです。11日は、この日から一般質問が始まりまして、答弁書の数が五十数枚ということで、通常の半分以下であり、今までにない少なさでした。15日に、下関婦人連合会「下関母のつどい」に参加。18日に6月市議会が終わりました。

19日18時30分からグランドホテルで行われた、ライオンズクラブの例会に出席しました。熱中症対策として2月に100万円をいただきましたので、そのお礼として、感謝状と記念品を手渡しました。ライオンズクラブの皆様から喜ばれて良かったなと思えます。学校支援課の課長と係長には、大変な気苦労だったと思いますが、きちんとライオンズクラブの皆様へ感謝の意を表明することができたのはとても良かったなと思っています。

それから、20日は、豊北生涯学習センターで豊北音楽祭、小学生の最後の音楽祭を聴きました。続いて、昼から豊田中小学校の研修支援訪問に参加、この日はとても素敵な一日で、神様からの贈り物みたいな1日でした。これについては、教育長だよりも書いてありますので、読んでみてください。それから、22日は下関市教職員連合会の「定期総会」、引き続いて、午後は「下関支部の集い」が川中公民館でありました。

25日は小中学校空調設備の運転開始のセレモニーが熊野小学校であって、3年生の教室で市長が始運転のスイッチを押すというイベントがあり、エアコンの風が流れてきた時に吹き出し口にリボンが付いていたのですが、それが揺れ始めた時に、子供達から大歓声があがって、その歓声はまだ耳に残っています。公共建築課の職員も含めて、沢山の大人が関わったんだなと思って、感慨深かったです。26日は社会教育委員定例会がありました。午後は、定時制通信制教育振興会総会が教育センターでありました。

ここには書いていませんが、26日、昨日の18時30分から王江小の保護者説明会に参加し、新しい学校を、王江小、名池小、名陵中を統合してつくるという説明に伺いましたが、

ここで令和3年に新しい学校の開校を目指すことを伝えられたことが大きな収穫だと思っています。もちろん、それでも保護者の方から強い反対があれば進めることはできませんが、一応目処がたったと思っています。今からも大変だと思いますけれども。突然学校訪問については、資料に書いてある学校に訪問しました。

ただいまの報告で何かご質問はありますか。ないようでしたら、日程1の議案審議に入ります。

【議案審議】

第49号 下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令

児玉典彦（教育長）

第49号「下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令」について、学校教育課 大田課長お願いします。

大田一夫（学校教育課長）

失礼します。議案第49号「下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令」について、ご説明いたします。資料の2ページから3ページをお願いいたします。

令和元年7月1日施行の工業標準化法の改正により、これまでの日本工業規格が日本産業規格へと改められます。これに伴い、本服務規程に定める24の様式のうち、17の様式中で、備考に「用紙の大きさは日本工業規格A列4とする。」又は「B列5とする。」の表記を改める必要がありますが、残りの7つの様式については、用紙の大きさについて表記していないことや、現在では公文書の用紙の大きさはA列4が定着していることから、改めて表記する必要がないと考え、様式間の統一を図るため、備考の表記を削るものであります。なお、新旧対照資料3ページでございますが、各様式において表記方法が同じであるため、様式第1号のみ添付しております。以上、下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について説明いたしました。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。では、ご質問、ご意見があればどうぞ。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

様式が変わることは、非常にいいことだと思います。私は一般企業ですから、やはりこういったところを少しずつ変えていって、汎用性のあるものとか、重複しないものにしていくべきだと思います。ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

この訓令に限らず、ご説明がありました、工業規格が産業規格に変わったということで、全部このような審議を必要とすることになるのでしょうか。

児玉典彦（教育長）

どうでしょう。はい、藤田部次長。

藤田信夫（教育部次長）

教育委員会規則等について、様々な様式がございますので、今回は服務規程ということで出させていただいております。改めて他の規則等も確認して、こういう表記があるものについては、今後あれば可能な限り一括で改正をかけていきたいと思っております。また改めて確認させていただこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。

児玉典彦（教育長）

はい、では積極的に進めるようにお願いします。他はよろしいですか。ないようでしたら、議案第49号について、承認としてよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

では、承認といたします。

【専決の報告】

下関市社会教育委員の解嘱及び委嘱について

児玉典彦（教育長）

続いて、日程2の専決の報告にまいります。「下関市社会教育委員の解嘱及び委嘱について」を生涯学習課 異儀田課長お願いします。

異儀田正康（生涯学習課長）

生涯学習課でございます。専決の報告「下関市社会教育委員の解嘱及び委嘱について」ご説明させていただきます。資料の4ページをご覧ください。

本市教育委員会は、社会教育法第15条及び下関市社会教育委員条例第2条の規定に基

づき、下関市社会教育委員20名を設置しております。この度、委員中、山口県教育会下関支部の役員改選により、6月21日付で、同支部長であった藤永悦朗委員を解嘱し、新たに同会支部長となった田上文雄氏を、6月22日付で、社会教育委員として委嘱いたしました。任期は、前任者の残任期間の令和元年6月22日から令和3年5月31日まででございます。以上ご報告いたします。

児玉典彦（教育長）

ただいまの専決の報告について、委員の皆様で何かございますか。ないようでしたら、本件について報告済みといたします。

【報告事項】

2019年度子ども文化パスポート事業について

児玉典彦（教育長）

続いて、日程3の報告事項にまいります。「2019年度子ども文化パスポート事業について」を教育政策課 田村課長お願いします。

田村尚美（教育政策課長）

委員の皆様には、あらかじめパスポートをお配りしているかと思っておりますので、ご覧くださいませ。併せて、説明の方をさせていただきます。

まず、資料5ページの1のところです。事業趣旨と経緯でございます。子供たちが、地域の文化・歴史・自然に接することにより、豊かな心を育むとともに、親子の触れ合う機会を増やすことを目的として、文化施設をはじめとする様々な施設に無料又は一部割引で入場できるなど、施設で特典が受けられるパスポートを子供たちに配布するものでございます。

2ですが、事業の概要といたしましては、北九州市、下関市、長門市、北九州都市圏の4団体において実施するものでございます。それから、対象者は、保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校等の幼児、児童、生徒でございます。実施の期間は、7月20日（土）から9月1日（日）までの44日間でございます。配布方法につきましては、保育園、幼稚園、こども園、小中学校等でパスポートを配布いたします。対象施設につきましては、今年度は合計で全87施設となっております。下関につきましては、今年度、新たに火の山ロープウェイ、下関フィッシングパークが追加となっております。

それから、次に今年度の付帯イベントについてご説明いたします。パスポートをお配りしておりますので、ご覧ください。パスポートは、昨年度から、より多くの施設情報を盛り込むために、冊子型に変更しております。それから、企画内容については、昨年度と同じく、基本的にはスタンプラリー形式で各施設を周遊するというものですが、各施設を巡り、スタンプをそろえていくと、スタンプ数やコースの制覇に応じて景品プレゼントの応募が行え

るというものでございます。なお、子供たちの参加意欲向上を図るため、事業参加している自治体からの提供を中心に、抽選で景品をプレゼントするとともに、全施設制覇者に対して、完全制覇認定証を授与するなど、子供たちが興味、関心を持てるように工夫しております。

最後に、今後のスケジュールでございますが、7月の初めに各学校等へのパスポートの発送を予定しております。また、事業の周知、広報として、市報7月号に事業情報を掲載するとともに、報道機関への資料提供や小中学校校長会等において周知を行う予定としております。報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、委員の皆様で何かございますか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

毎年子ども文化パスポートを見させていただいていますが、色々な知恵を使って、子供たちが行きたくなるような形でできているのはすごいなと思っています。この中で、新しい施設がいくつか増えてはいますが、これまでであった施設で、減ったところというのがありますか。

児玉典彦（教育長）

はい、田村課長。

田村尚美（教育政策課長）

現時点では、減ったというところは聞いておりません。

藤井悦子（教育委員）

わかりました。ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。ないようでしたら、本件については報告済みいたします。

【報告事項】

学校給食施設再編整備について

児玉典彦（教育長）

続いて、「学校給食施設再編整備について」を学校保健給食課 山本課長お願いします。

山本匡章（学校保健給食課長）

「学校給食施設再編整備について」ご説明します。資料6ページをお願いします。老朽化が進む南部学校給食共同調理場の建て替えについて、現行の衛生管理基準に適合し、全国的な話題に上がっている食物アレルギーへの対応ができ、快適な調理作業環境と効率的な運営に向けた整備を検討しております。平成30年度はPFI導入可能性調査を実施し、教育委員会3月定例会にて調査結果について、報告いたしました。PFI導入可能性調査で行った整備候補地や事業手法について、事業の実現に向けて比較検討し、次のように方向性を定めたことを報告いたします。

「1.整備地について」は、水道などのインフラ、食材調達における立地環境、周辺住民に与える影響、給食受配校との距離と配送計画の立てやすさなどから新下関市場を整備地とします。また、提供可能な食数規模は1日当たり8,000食を想定しております。

「2.事業手法について」は、設計、整備、維持管理、運営に関し、民間事業者が持つノウハウや創意工夫などを最大限に発揮でき、効率的かつ効果的な運営が期待できるとともに、市の財政負担の軽減や給食の質の向上などが期待できることから民設民営方式を採用いたします。民設民営方式は、民間事業者が施設を整備、所有し、運営するもので、市が民間事業者から給食の提供を受けるものです。

「3.その他」として、事業者の募集方法については、広く業者を募集するとともに、給食事業に対する民間事業者が持つノウハウや創意工夫について提案してもらい、最もサービス水準が高く、効率的な運営が可能な事業者を選択できるプロポーザル方式といたします。以上、ご報告いたします。

児玉典彦（教育長）

はい。今、「学校給食施設再編整備について」報告がありましたが、ご質問がありましたら、どうぞ。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

いくつか質問がありまして、まだ確定していない部分も多くあると思いますけれども、今わかる範囲で教えていただけたらと思います。まず、いつから予定されているのかということが1つ。企業はもちろん今から選定していくんでしょうけれども、例えばですが、倒産のリスクをどのように担保していくのか。後は、一般企業ですから、事業計画が3年、5年というようにあると思うのですが、その中で途中解約のリスクなどをどのように想定されているか。それと、給食費ですが、一般企業になって、値上がりすることがあるのかどうか。それから異物混入に関して、その設備の基準をどのように考えられているのか。わかる範囲で結構ですけれども、教えてください。お願いします。

児玉典彦（教育長）

沢山質問がありました、山本課長お願いします。

山本匡章（学校保健給食課長）

まず、いつからということですけど、まだはっきりとした時期は決まっていません。事業者が決まって、契約を結んでから2年程度。今から進めるに当たって、事業者決定までがこれから1年程度。まだ、未解決の課題もあり、それらを解決する必要がありますので、そのくらいの期間は要するというご理解ください。

倒産のリスクですが、これはPFI事業でも、民間委託事業でもすべてにあります。一般にPFIの場合は、金融機関などが中心になる特別目的会社が監視をするということになるのですが、現在の事業の事業者の倒産は単なる監視で済まないケースもありますので、いろんな方法を考えています。ある業者からの提案ですけれども、業務継続履行を保障する会社をつけるというような話もありました。その辺りについては、今後もう少し検討を進めたいと思っております。決定したわけではありません。

それと、事業契約の途中解約の件、これも先程の事業の倒産のリスクと一緒にですけども、契約期間というのが、今回はPFI事業ではないですが、例えば一般的にPFI事業だと、10年、5年の規模ということになりますので、解約する時も当然相手方にもそれなりの覚悟がいるというのは当然あると思います。このことについては、倒産のリスクと同じような方法で考えたいと思います。

それと、給食費が上がるかどうかのご質問ですけれども、給食費というのは材料代をいただいておりますので、材料代のところについて企業の方がそこをコストダウンすることはないというように考えています。材料代について、集めた給食費が適正に給食材料費に回っているかというのは教育委員会の方で監視する必要がありますので、その点のご心配はないと思います。

次に、異物混入の件ですけれども、今の学校給食施設を事業で行う場合は大量調理施設というのに当たりまして、HACCP（ハサップ）の基準、考え方に基づいた設計及び運営をすることに決まっていますので、この異物混入については現在の学校給食施設よりもはるかに高い水準で防げると考えております。以上です。

児玉典彦（教育長）

どうぞ、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

ありがとうございます。今から業者の選定はされていくと思うのですが、やはり施設を建てて、それから給食を作って、運んで、人を雇ってということで考えたときに、今の給食費で一般の業者さんが今までどおりの水準を下げないようによろしく願いいたします。

児玉典彦（教育長）

その点、よろしく申し上げます。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

今の南部共同調理場では、9校に2,189食を提供しています。新しい調理場ができる
と、8,000食の提供が可能ということですが、その容量で何校をカバーすることができる
のでしょうか。また、今まで自校式だったところはなくなって、共同調理場に代わるとい
う形になると思うのですが。

児玉典彦（教育長）

はい、山本課長。

山本匡章（学校保健給食課長）

何校というのが想定ではあるのですが、具体的に説明しづらいところがありまして、新し
い給食施設に取り込もうと想定している範囲は、長府より西側、安岡より南側、勝山・川中
も含めて、あと彦島の範囲で考えています。だいたい現在の子供の数で、そこで1万1,0
00人。後、教職員が大体8%くらいいるので、1万2,000食規模。この中から8,0
00食に近くなるように選ぶというように考えております。

竹内徹（教育部長）

新しくできる調理場は、中部調理場のすぐ横になります。新しくできる調理場と中部調理
場を含めての再編ということになります。

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。他には。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

新しい民設民営方式で給食を作って、それを配食するという事になると、現在調理場で
働いていらっしゃる方の勤務先がなくなるというようなことも考えられるところですが、
その辺についての配慮や計画を、今の時点でお考えがあれば教えていただけたらと思いま
す。

児玉典彦（教育長）

はい、山本課長。

山本匡章（学校保健給食課長）

正規の調理員に関しては、新しい給食調理場に取り込まれない学校の方に配置するので賄えると思います。あと、1年契約で行っている非常勤職員というのも一部ありますけど、大部分は勤務先が減ることなので、そちらの方は今のところ具体的な話はない状態です。

児玉典彦（教育長）

私から聞きたいのですが、非常勤の方が希望すればこの新しい調理場で勤務するというようなことも可能なのでしょうか。

山本匡章（学校保健給食課長）

採用については、事業者の裁量の範囲なので、うちの方からも紹介する程度はできると思いますが、採用するかどうかはあくまでも事業者の考えることであって、我々が関与することではないと考えています。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

すみません、もう1つ。今、給食を作って配送する方法で考えていますけれども、受ける側の学校の方の負担が変わるとか、学校職員の仕事が増えるとか減るとか、そういったことはしっかり詰めて、現在よりも学校の方の負担が増えるような契約にはならないように考えていただけたら、というように思います。

児玉典彦（教育長）

今のお願いについて、そのように配慮を願います。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

まだ先の話だと思いますけど、夏休みをちょっと短くして、授業するという件で、この前、総合教育会議のときに市長さんから給食もあった方がいいよねという話がありました。今ある調理場、自校式は良いことなのですけども、調理室の環境は老朽化もしているし、クーラーのない夏の暑い間に給食をつくることは大変だと思いますが、例えば、こういう施設ができるとそういう負担というのを一括でもらえると助かると思いますので、是非この計画は進めていただきたいなと思っています。よろしくお願いします。

児玉典彦（教育長）

では、山本課長、この新しい調理場の環境について、簡単に説明して貰えれば。

山本匡章（学校保健給食課長）

今の調理場の安全基準というのが、正確な温度を覚えていないのですが、確か25度ぐらいの室温を維持しなければいけなかったかと思しますので、当然湿度と温度の規定があって、それはあくまでも調理用の食材の管理を主眼に置いた規定ですが、人間が暑いということはないと思います。

児玉典彦（教育長）

それは、新しい調理場のことですか。

山本匡章（学校保健給食課長）

新しい調理場のHACCPの考え方に基づく、食中毒を出さない調理場というのが今の調理設備として最も求められるものなので、その基準においては、調理施設の室温、調理している材料の温度、その温度管理を厳しく確認、コントロールする必要がありますので、そういう点では調理環境は、実際私も他の施設に行きましたけれども、快適な環境でした。

児玉典彦（教育長）

新しい調理場が快適な環境になるということでもよろしいでしょうか。それでは、この件については、報告済みといたします。

【報告事項】

下関市生涯学習プラザの臨時休館について

児玉典彦（教育長）

続きまして、「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」を生涯学習課 異儀田課長、お願いします。

異儀田正康（生涯学習課長）

「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」をご説明いたします。資料の7ページ、8ページをご覧ください。

令和元年9月27日金曜日に中央図書館を含めた施設全体の消防用設備の保守点検を実施するため、臨時休館することとしました。生涯学習プラザ及び中央図書館の維持管理は、指定管理者である公益財団法人下関市文化振興財団が行っております。この度、指定管理者からの申し出があり、消防法に基づく消防用設備の保守点検では火災報知器及び防火・防災

用シャッターの作動試験等を行うことから、施設内での安全な点検を実施するために、臨時休館が必要と判断したものです。なお、臨時休館日を9月27日金曜日とした理由は中央図書館が設置条例に基づく定例の休館日にあたるため、生涯学習プラザのみ臨時休館とするように調整したものでございます。以上ご報告いたします。

児玉典彦（教育長）

今の報告についてよろしいですか。それではこの件につきましては報告済みといたします。

【報告事項】

横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち 安野光雅／角野栄子／あべ弘士」展開催について

児玉典彦（教育長）

続きまして、「横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち安野光雅／角野栄子／あべ弘士」展開催について」を美術館からお願いします。はい、中村館長。

中村美幸（教育部参事）

美術館でございます。「横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち安野光雅／角野栄子／あべ弘士」展開催について」を報告いたします。9ページでございます。今回チラシができて、お手元にお配りしておりますので、こちらの方をご参照いただければと思います。

下関市立美術館では、7月12日から9月1日まで特別展「横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち安野光雅／角野栄子／あべ弘士」の展覧会を開催いたします。横山眞佐子さんは、児童書専門店こどもの広場の主宰として、下関で40年にわたり本の素晴らしさ、絵本の楽しさを伝えてきました。その活動の中で、多くの絵本作家、児童文学者らと交流し、講演会やワークショップなどを行い、下関の子供たちに感動の種を撒き続けています。本展では、彼女が出会い、下関に豊かな文化の香りを届けてくれた愉快な仲間の中で特にゆかりの深い3人の作家安野光雅、角野栄子、あべ弘士を取り上げ、彼らの作品の紹介を軸にこどもの広場の活動40年のあゆみと、下関市立美術館の絵本展のあゆみをたどるものです。会期中、角野栄子さんや、あべ弘士さんの講演会を開催いたします。

また、絵本の読み聞かせや人形劇などイベントも盛りだくさんございまして、随時ホームページでお知らせしていきますので、ぜひご覧いただければと思います。よろしくお願いたします。以上報告いたします。

児玉典彦（教育長）

今の報告について、委員の皆様で何かございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

1つ確認です。横山眞佐子さんは、ラジオとかにも出られて、色々活躍されていますけれども、小学生とかその保護者、幼稚園、その保護者も非常に興味があることだと思いますが、幼稚園、小学校へこのパンフレットの配布というのはされるのでしょうか。

児玉典彦（教育長）

はい、中村館長。

中村美幸（教育部参事）

下関市内の小学生には、3年生以上の全児童への配布を予定しております。製作数の関係で、幼稚園、保育園の全員の子供たちという訳にはいきませんが、今回保育連盟や私立の幼稚園協会などの後援もいただいておりますので、それぞれの園にはお知らせしたいと思っております。

吉村邦彦（教育委員）

ちょうど、こども文化パスポートの時期に入りますので、併せて使ってもらえればいいのかというように思っています。後ほどの歴史博物館の方もそうでしょうか、是非その辺は積極的にアピールしていただきたいと思えます。

児玉典彦（教育長）

では、そのようにお願いします。よろしいですか。それでは報告済みといたします。

【報告事項】

赤間関市誕生130年記念特別展示「下関の鉄道物語」の開催について

児玉典彦（教育長）

最後になりますが、「赤間関市誕生130年記念特別展「下関の鉄道物語」の開催について」を歴史博物館中村副館長お願いします。

中村美幸（教育部参事）

歴史博物館です。よろしくお願ひいたします。10ページの「赤間関市誕生130年記念特別展示「下関の鉄道物語」の開催について」をご報告いたします。こちらの方もチラシができておまして、お手元に配布しておりますのでご覧いただければと思います。

下関市立歴史博物館では7月20日から9月23日まで特別展示赤間関市130年記念「下関の鉄道物語」を開催いたします。これは明治22年、1889年に下関市の前身であ

る赤間関市が誕生して130年を記念して、開催するものでございます。近代化を目指す日本に劇的な変化をもたらした鉄道の歴史を振り返るとともに、鉄道開通により、新しい風が吹き込まれた下関の発展を紹介いたします。山陽鉄道や、当時国際的な宿泊施設であった山陽ホテルに関する資料、開業当時の切符、幕末の蒸気車の模型など、興味深い資料が目白押しでございます。ちょうど夏休み期間中ということで、ミニSLの展示会や、子供制服試着体験などもございます。家族で楽しめる展覧会だと思いますので、どうぞご来場ください。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。何かありますか。よろしいですか。私もとても期待をしている展示会ですので、たなか〜る先生を中心に学芸員の方に頑張るようにお伝えください。それでは、報告事項を以上で終わります。

【その他】

児玉典彦（教育長）

続いて、日程4その他ですが、何かございますでしょうか。どうぞ。大賀課長。

大賀健（学校支援課長）

学校支援課です。よろしく申し上げます。教育長報告にもありましたが、熊野小学校で25日から空調設備の運転を開始するというので、中学校は少し遅れておりましたが、追いついてきておまして、おおむね7月上旬から順次運転できる学校が増えているという状況になっております。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。次回の日程ですが、7月の教育委員会定例会は、7月30日火曜日午前9時30分下関市教育センター3階中研修室で開催の予定です。よろしく申し上げます。

(はい)

【閉会の宣告】

児玉典彦（教育長）

これで、本日の議事はすべて終了しました。これで定例会を終了します。お疲れ様でした。

(お疲れ様でした。)

署名

教育長 _____

署名委員 _____

署名委員 _____

作成職員 _____